

教員についての基本情報

教員名	前村 佳幸 (MAEMURA Yoshiyuki)
担当教科と分野	社会科教科専門 地歴科分野
研究分野	宋代以降の中国史 近世琉球史 和紙抄造文化
担当授業	外国史概論A、歴史学特殊講義V～VIII、琉球・東アジアの史籍I～IV、歴史学史料講読V～VIII、社会科入門、社会科要説、生活科教育概論、沖縄の環境と社会、教職実践演習、卒業論文演習I～IV、卒業論文I・IIなど
授業についての一言	教科書や参考書を熟読しても歴史理解を深めることはあまり期待できません。自分自身で資料を読解し考察すること、そのために歴史的な出来事や人物そして文化財に対して「問いかける力」が必要であることを学んでほしいと思います。
研究室ホームページ	



研究の内容

琉球大学ホームページの研究者データベースを参照してください。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

- ・近代沖縄人の対外認識—東南アジアを中心として—
- ・15世紀後半における琉球の王権と梵鐘・銅銭註属—第一尚氏後半から第二尚氏初期に連続する王権の強化と拡張—
- ・米軍統治期における沖縄の人々の意識に関する研究—高校野球全国大会を通じて—
- ・近世琉球の士族の社会的結合についての考察—那覇・泊を中心として—
- ・「先島」における偉人伝承について—仲宗根豊見親とオヤケアカハチを中心に—
- ・十九世紀末における阮朝外交の考察—如清使を中心として—

研究のキーワード

中国の歴史と文化、日本と琉球の歴史と文化、古文書原料の分析、ものづくり教育としての小学校での和紙づくり、歴史学の史的理解、歴史学をめぐる関連分野の理解

研究室の様子

研究室の両壁に設置した書棚には本がぎっしりつまっています。最上段には手が届きませんし、棚の前後を使っているのも、別の本をのけないと必要な本が取り出せないこともあります。ドア脇のステンレス台には和紙の繊維を観察するために顕微鏡などが置かれています。それでも、南向きの窓側にある木製の長机には各社の漢和辞典そして『大漢和辞典』など参考資料が使いやすいように並べられており、2～3名の学生がじっくり古典籍や古文書の読解に取り組むことができるようにスペースを確保しています。古典や古文書の読解はごく基礎的なところからのスタートです。モニターにPCや書画カメラの画面を表示するなど情報整理しながら指導しています。ゼミでは各自の興味のあるテーマで卒論を完成させることを尊重しています。

